

事務事業名	庁舎維持管理事業		所属部局	消防本部	単位番号	13027				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	管理課	課長名	手塚 千広				
			所属担当	庶務担当	担当者名	千野 勤				
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 09	項 01	目 01	細目 030	細々目 10
政策	06	安全な環境づくり	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	08	防災体制の充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 24時間勤務体制に即した職場環境の整備及び南アルプス市の防災拠点となる消防本部庁舎・地域防災交流センター、八田消防署、甲西分遣所の建物維持管理に努め、安心安全な環境づくりを確保する。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 消耗品費 83 設備維持管理委託料 2,110 燃料費 409 その他工事請負費 光熱水費 9,514 事務備品購入費 137 修繕料 207 手数料 96 計 12,556						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容: 事務事業の概要のとおり	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない								
	27年度活動予定: 事務事業の概要のとおり		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア設備維持管理費、修理費、手数料</td><td>千円</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア設備維持管理費、修理費、手数料	千円	イ		ウ	
名称	単位										
ア設備維持管理費、修理費、手数料	千円										
イ											
ウ											
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	庁舎、設備	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない								
			<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア本部・署所</td><td>数</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア本部・署所	数	イ		ウ	
名称	単位										
ア本部・署所	数										
イ											
ウ											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	職場の環境整備につながり、24時間勤務体制における業務に集中できる環境が作られる。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない								
			<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア勤務支障件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア勤務支障件数	件	イ		ウ	
名称	単位										
ア勤務支障件数	件										
イ											
ウ											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	消防活動及び地域防災活動の拠点として、庁舎を適切に維持管理し、市民の安全・安心の確保を図る。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない								
			<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア修繕件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア修繕件数	件	イ			
名称	単位										
ア修繕件数	件										
イ											

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	24	15	136	83	83	83	
		一般財源	千円	11,310	14,292	12,420	14,464	14,464	14,464	
		事業費計(A)	千円	11,334	14,307	12,556	14,547	14,547	14,547	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	300	
		人件費計(B)	千円	1,365	1,365	1,365	1,365	1,365	1,365	0
		(A)+(B)	千円	12,699	15,672	13,921	15,912	15,912	15,912	0
	活動指標	アイウ	千円	2,297.0	1,852.0	2,413.0	2,747.0	2,747.0	2,747.0	
	対象指標	アイウ	数	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
	成果指標	アイウ	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	上位成果指標	アイ	件	9.0	3.0	6.0	0.0	0.0	0.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	消防庁舎の維持管理事業であり、消防発足当初からである。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	消防本部・南アルプス署の庁舎及び地域防災交流センターが平成22年10月に新庁舎での業務を開始し2年が経過した。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	修繕についてはすべて業者任せではなく、出来るものは職員にて対応している。光熱水費等は無駄に使用することなく、業務に支障が出ない範囲内でおこなっている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	事務経費の精査(可能な限り延命維持管理)

事務事業名	庁舎維持管理事業	所属部	消防本部	所属課	管理課
-------	----------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 安心・安全なまちづくりに必要となる消防庁舎であるため、維持管理する必要がある。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 職員で対応できない庁舎維持管理は民間等へ委託し実施している。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 本部・署所の維持管理のため、維持・継続していかなければならない。又、本事業には、南アルプス市地域防災交流センターの維持管理業務も含まれている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 本部庁舎と合築されている南アルプス市地域防災交流センターは、市民に幅広く利用できる施設であり、利用実績も向上しているため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 災害時の避難施設及び緊急対応する職員の待機場所であるため、正常運用できないと、緊急対応を必要とする市民へ影響が出る。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 災害時の避難施設及び緊急対応する待機場所となる消防庁舎であるため、正常運用できないと、緊急対応を必要とする市民へ影響が出る。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 消防庁舎、南アルプス市地域防災交流センターの維持管理のため、削減できない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事務事業なので削減できない。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公平公正

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	緊急活動拠点であり、24時間勤務体制に支障のなきよう厳重に管理する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 現状を維持しつつ、より高度な緊急体制を検討していく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 必然の経費であるが、無駄なく最善の緊急活動に向けて検討を図る。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑫																					
	コスト削減優先度評価結果 ③																					